



支援部ネット

令和7年度
3月13日
すながわ高等支援学校
研究支援部

初めに

この支援部ネットでは、支援教育に関する情報や校内での取り組みなどをお伝えしていきます。今回は、1年生で3週に渡り取り組んだ～多様性を認め合う～についてご紹介します。ぜひご一読ください。

学習の流れ

〈1週め〉

「性のとらえ方」の学習として、「ファッションシート」や「性のものさし」のワークシートを利用して、人権に関する基礎的な内容の再確認と多様な性のあり方を学習しました。

▶ Q 次の服その人の性別は何だと思えますか？

(1)



男・女・わからない

(2)



男・女・わからない

(3)



男・女・わからない

(4)



男・女・わからない

(5)



男・女・わからない

Q それぞれの性について、(自分が)これくらいかなと感じる位置に●をつけましょう

性のものさし

①からだの性	女性	男性
②こころの性	女性 ----- 男性	
③好きになる性	女性 ----- 男性	
④社会的な性	女性 ----- 男性	

生徒たちの感想(一部)

- 世界には、男性、女性関係なく自分らしく生きるっていうのはすごく大切な事だから、自分らしく、自分が思う自分、自分が好きと思うものを大切に、自分ともっと向き合うために、生きていくために道を決めて進んでいく。
- 男性で生まれたけど好きな性も男性を好きになる人もいると思うので、オネエとかホモなどの言葉は言わずに相談したり、話したりしようと思いました。その人を嫌いにならずにその人がどんな人なのかを知ろうと思いました。

〈2週め〉

元養護教諭で LGBTQ+の当事者である井上鈴佳さんに昨年度、一昨年度に引き続きご来校いただき、お話を聞かせていただきました。

1時間めの最初に、井上さんのパートナーである「そらくん」がトランスジェンダーとして困っている体験をもとにした紙芝居を見せていただきました。そして「LGBTQ+ってどんな人？」をテーマに、井上さんご自身がレズビアンであると気づくまでのお話、井上さんの友だちのお話を紹介していただきました。

2時間めは、トランスジェンダーであるそらくんの1番の大きな困りごとであるトイレ問題について、みんなで考えました。どうしたらそらくんが泣かずに外でトイレに行けるか、その解決策をグループで話し合いました。井上さんやそらくんの悩みに寄り添い、1人1人が自分ごととして、深く考えることができました。

最後は、「よかったら今日から LGBTQ+の人たちの味方、ALLY (アライ) になってくれないか?」という言葉で締めくくられ、井上さんから ALLY のシールをいただきました。ALLY の存在の大切さを改めて感じる学習となりました。

生徒たちの感想および3週めの事後学習で取り組んだまとめについてご紹介します。

井上鈴佳さんの講演に対する生徒たちの感想 (一部)

○人権学習をして、井上先生とそのパートナーの絵本を見たり、家族じゃないと救急車に運ばれても電話されないことを知って、それは悲しいと思った。班で分かれて、トランスジェンダーの人でも使いやすいトイレの在り方を考えたりして、今日一日を通して LGBTQ+ やそれで困ったりする人のことを深く知ることができて、自分もそういう人たちのことを知って理解しようと思いました。

○LGBTQ+ で大変なことを知って、本当に辛いと思うけど、今日のことを聞いて、もしそういう人がいたら、助け合おうと思いました。

○トイレ問題で、ヘルプマークを提案したところ、実際にそうしている人もいるという話を聞いて、自分の意見がたまたま現状の正解の一つにたどり着いたようで、嬉しかったです。LGBTQ+ の人たちは、生活において、色々な壁が多くて大変そうと思いました。

○LGBTQ+ について、より深く知ることができました。人は、それぞれの性があるし、それぞれの生活があるのだと思い、5, 6限の授業を受け、「すごいな」と思いました。LGBT の人たちは、すごく生活では苦勞しているのだなと思いました。

○最初は、LGBTQ+ が分からなかったけれど、井上さんの授業を受けて、LGBTQ+ がちょっとだけ分かりました。

○LGBTQ+ について、知ることができました。LGBTQ+ の味方が ALLY (アライ) だと学びました。

○井上さんに質問して LGBTQ+ の人に相談されたとき、「話してくれて、ありがとう」など優しい言葉をかけた方が良いのだと知りました。LGBTQ+ の人は悪い人ではない。ただ差別をするのは良くないと思いました。

事後学習 (1年生の教室前にまとめを貼り出しています。ぜひご覧ください。)

